

## “WE”のエンジョイライフ

enjoy.03：プラハでのイベント

1992年第一回 WE 展は6カ国8人による生け花展でした。この時お花の好きな人が集まって楽しむ仲間達の意味を含め「WE」と命名。その後一人のメンバーの招きで WE 展をプラハで開催。チェコ・ハンガリー・アメリカ・日本からWEメンバー、また近隣諸国から草月作家が参加。会場では展示会の他、私は初めて観客を前に後ろから生けるデモンストレーションも行いました。WE 誕生の前年、イギリス在住の草月作家 S 氏のデモをハンガリーのケチケメートと、チェコのプラハで拝見、裏方で少しお手伝いもさせて頂きました。次々と変化しながら構成されて行く生け花に大変感動致しました。

さて、プラハでの展示会にはテレビ・ラジオ・新聞等のマスメディアが取材。ラジオはスタジオに入れられての生放送。様々なトークの中で司会者が、日本人はいつも忙しく働いているのに、なぜ、茶道の様なゆっくりしたものを好むのかとの質問がありました。私は自分の経験から、一期一会の精神の他忙しいからこそ、チンチンと沸くお湯の音、フーンと漂うお香の香り、ここでは普段の合理的な考えなど全く必要なく、無の境地に身を置くだけで明日への活力になります。と話すで大変良くわかりましたとご理解いただいたようです。

更に1996年には大使館主催のイベントとして1週間に亘り、プラハに次ぐ大都市ビルゼン、ブルーノ、そしてスロバキアの首都ブラチスラバの3地点で生け花のデモをしました。この時私は、押し花もスタートしていたので、一地点100人分、3地点計300人分の押し花を関係者より応援頂き体験もしました。ヨーロッパの人達は偽物は窓から捨てると言う程、本物を好みます。彩色もせず自然の色を保ったこの押し花の美しさに大変高い評価を頂きました。



小林美和子

「フラワーサロンWE」主宰

長岡市表町在住

押し花やフラワーアレンジメントの他、花のクラフトとして、ネイチャープリント、レカンフラワー教室主宰。

2006年には WE メンバーを主とした押し花展をプラハ市立ミュージアムにて開催。展示会やパーティの他学校での体験授業、高校生を対象にした押し花体験会、チェコの方々との交流会など満喫した10日間でした。更に2010年、押し花の TOP 杉野宣雄氏を先頭に全国から20数名の押し花関係者が参加。再度同じミュージアムで押し花展と別会場にてセミナーを開催。チェコの各地から30数名の方が受講して下さい指導者が誕生。10数年の時を経てようやくチェコにも押し花の花が咲き、今は学校やサロンで生徒さん達も楽しんで下さること。大変嬉しく思います。



大使に挨拶する筆者と関係者



イベントを紹介する新聞記事